

2025年度(令和7年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	80.0	20.0	0.0	0.0
女子	100.0	0.0	0.0	0.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	100.0	0.0	0.0	0.0
女子	100.0	0.0	0.0	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	50.0	20.0	30.0	0.0
女子	90.9	9.1	0.0	0.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.67	26.80	38.50	43.40	45.40	9.36	157.30	24.00	56.60
女子	17.20	29.00	41.09	47.64	38.73	9.43	149.09	19.00	61.36

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・男女ともに、運動やスポーツ、体育の授業など、体を動かすことが好きである。反面、「運動やスポーツをどのくらいしていますか」には、男子は30%の児童が月に1~3回と回答し、運動の機会が少なく、習慣化には繋がっていないことが考えられる。

体力面

・男女ともに、「走力」と「持久力」に課題が見られる。特に男子は、「20mシャトルラン」において県平均値かつ全国平均値未満となっている。「走力」と「持久力」を高めるような運動をする機会が少ないことが考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・サーキット運動やストレッチ運動に取組み、運動の恒常化を図る。
- ・「体幹」「走力」「持久力」を高める運動を授業前に取り入れ、行っていく。
- ・児童が興味をもちながら運動できる場を設定する。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・体力の現状について、家庭に伝わる。また、家庭学習として行う体力アップカードに、「体幹」「走力」「持久力」を高める運動を取り入れる。引き続き、体力アップカードの裏に、毎月家庭でできる運動を紹介することで、運動に興味をもたせる。
- ・児童会と連携してレクリエーションを行ったり、長縄大会を行ったりし、全校で楽しく体を動かせる機会を設け、運動への興味や関心をもたせるとともに、楽しみながら運動できる場を仕組む。
- ・講師を招聘し、全校児童が「体づくり運動遊び」を体験し、運動の楽しさを実感する機会を設けた。

2026年度(R8年度)の重点目標値

- ・男女ともに、20mシャトルラン、50m走の県平均値かつ全国平均値を超える。
- ・男女ともに、20mシャトルラン、50m走を中心に記録を伸ばす。